

第24回

'13選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2013年1月20日 (日)
- コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡西区・ホテルクラウンパレス北九州
折り返し 32.8km

一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



1位でフィニッシュする天満屋のアンカー・小原怜

一般の部

天満屋 2年連続5回目V

高校の立命館宇治に先着を許した天満屋が2年連続5回目の優勝。1区の坂本直子が7位と出遅れたものの、3区区間賞の重友梨佐が3位に上がり、1分7秒差でタスキを受けたアンカーの小原怜が序盤からギアをトップに入れ、区間賞で先頭を走る九電工を残り1.5kmでかわした。

九電工は1区・陣内綾子と2区・チェビエゴが連続区間賞で抜け出すと、4区まで首位を死守。記録、順位ともに前回は上回ったが、最後の最後に逆転され悔しい2位に。キャノンAC九州はアンカーの城戸智恵子が、京セラ・宮内宏子との競り合いを制し、チーム最高位の3位に入った。

武富豊・天満屋監督「5000mの記録は高校生と実業団でさほど差はない。でも高校生に負けるようでは…」
黒木沙也花・九電工4区「最後は残念だが、自信になる。藤野(圭太)監督は強いころの九電工を知っているの、信じてついていく」

城戸智恵子・キャノンAC九州5区「いつもは最後で負けるけど、きょうは振り切れた」

高校の部

史上初の実業団超え 立命館宇治が圧巻3連覇

立命館宇治が大会史上初めて一般の部を上回るタイムでフィニッシュし、3年連続6回目の優勝を大会新記録で飾った。圧巻だったのはアップダウンの激しい4区の広田麻衣。20秒差でたすきを受け取ると九電工の主将・黒木沙也花を追い上げ、3.7km過ぎで並んだ。そこから6度の抜き抜かれを繰り返して、3区の菅野七虹と共に全選手の中でも区間トップの快走だった。

2位に入った筑紫女学園は6人中5人が1、2年生の構成ながら全区間で3位以内と安定したレース運びをして沿道を沸かせた。神村学園は6区の浜田美蘭が順位を一つ上げる力走で3位に食い込んだ。

菅野七虹・立命館宇治3区「どこよりも練習量が多いし、質もいい。やるべきことをしっかりやれている」

萩野由信・立命館宇治監督「どんどん自信をつけていった。これが高校生」

由水沙季・筑紫女学園1区「抜かすことは不可能ではない。一人一人が少しずつ強くなり、総合力を上げたい」



実業団チームを降して総合1位でフィニッシュする立命館宇治のアンカー・片田桃華